

臨牀上、急性ノ熱性疾患ニ遭遇セル場合、時ニ各種症候ノ具備セズシテ暫ク診斷ニ迷フコトアリ。殊ニ腸「チフス」ノ初期ト潜伏性肺結核ノ急劇ニ發顯セルモノトノ鑑別ニ苦シムコト多シ。
カ、ル際、赤血球沈降反應ヲ檢スレバ前者ニテハ速度遲延スルニ反シ、後者ニテハ促進シ兩者ニ略々判然タル區別アルヲ見ル。

即チ赤血球沈降反應ハ此際補助診斷法ノ一トシテ用フルニ足ルモノナルヲ認ム。

五三、肺結核患者喀痰中ノ結核菌及ビ彈力纖維ノ出現度竝ビニ形態ニ關スル臨牀的觀察

佐々虎雄 (東京療養所)

余ハ東京市療養所患者九五九例ノ喀痰ニ就テ結核菌及ビ彈力纖維ノ出現度ヲ檢シ、尙數年ニ互ル臨牀的觀察ヨリシテ夫等ノ數及ビ形態ガ診斷上ノミナラズ、肺結核ノ豫後判定ニ多少ノ參考トナル可キ點、閉鎖性肺結核ノ斷定ノ困難ナルベキ事、彈力纖維ノミニテ結核ノ診斷ヲナシウル場合殆ンド無キ事實、反復檢査ノ必要ナル點等ニ關シテ二三ノ知見ヲ得タリ。

五四、結核ノ血液學的研究 (第一報告) 赤血球沈降速度ト血液像トノ比較研索

松浦鎮弉君 (愛知大知)

一、血液沈降度ハ、ツルバン、ゲルハルト氏分類ノ第一期ニハ概シテ促進セズ、第二期及ビ第三期ニハ促進スルモ、稀

ニハ遅延スルコトアリ、促進セザルモノハ却テ豫後一層不良ナリ。

一、遅延時、脈搏トノ關係ハ重要ナリ、脈搏數多キハ豫後絶對的不良ニシテ、脈搏數普通ナルモ胸部所見惡シク、且ツ遅延スルハ早晚豫後惡キガ如シ、一般狀態佳良ニシテ遅延スルハ豫後良好ナリ。

一、體溫竝ニ喀痰内菌數ニハ一定ノ關係ヲ認メ難キモ、體溫ノ上昇竝ニ菌數ノ多キハ斯カル症狀ナキモノニ比シテ概シテ促進セリ。

一、榮養トノ關係ハ興味深シ、肥滿、羸瘦ハ速度ニ關與スルモノ、如ク、同年者ニ就キテ體重ノ輕キハ其ノ重キニ比シテ速度大ナルコト多シ。

一、血色素量ハ概シテ沈降速度ノ促進ニ反比例シテ減少セルコト多シ、沈降度遅延スルモ血色素量減少著明ナル時ハ豫後不良ナリ。

一、赤血球數ハ恰モ血色素ノ變化ノ如シ。

一、白血球數ハ速度ノ促進ニ略々比例シテ増加ス。

一、中性嗜好細胞ハ白血球總數ノ如ク變化シ、核移動ハ促進セバ概シテ左方ニ移動シ、N-L係數ハ高シ。

一、「エオジン」嗜好細胞ハ輕症ニシテ速度小ナルモノニ多數ヲ認メ、促進セバ減少スルコト多シ。

一、鹽基嗜好細胞ハ「エオジン」嗜好細胞ト態度ハ同様ナリ。

一、大單核細胞竝ニ移行型、沈降度トノ關係尙ホ明カナラズ。

一、淋巴球ハ沈降度ノ促進ト反比例シテ減少ス。

一、右成績ハ肺結核患者百一例ニ就キテウエスターグレン氏測定器ニヨリ平均沈降速度ヲ以テ論セルモノナリ。